



National Dog Day：授業アイデア（簡単版）

国際犬の日をテーマにした英語の授業アイデア 2本

Class _____ No. _____ Name _____

1. わが家の犬・理想の犬を紹介しよう

小学校・15分

🎯 犬の様子を表す英語（big / small / brown / fast など）で、絵を見せながら紹介する。

1. 犬の絵（飼っている犬でも、想像の犬でも）を描く。
2. This is my dog. His name is ... He is ... He likes ... の形で3文を練習する。
3. グループで発表し、いちばん楽しい犬をみんなで選ぶ。

2. 保護犬のための英語ポスター

高校・45分

🎯 保護犬の里親を呼びかける、短く伝わる英語の文を考える。

1. この日の目的（保護犬と働く犬）を英語の本文で確認する。
2. 架空の保護犬のプロフィール（名前・年・性格・好きなこと）を英語で作る。
3. Adopt me! で始まるキャッチコピーと3文の紹介文をポスターにまとめる。
4. ギャラリーウォークで読み合い、いちばん心を動かされたポスターに投票する。



1. わが家の犬・理想の犬を紹介しよう

授業手順書（詳細版）／対象：小学校／15分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

This is my dog. His name is He is He likes の3文で、絵を見せながら犬を紹介できる。big / small / brown / white / fast など様子を表す言葉に親しむ。

準備

- 画用紙（1人1枚。犬の絵をかく）
- 様子を表す言葉の絵カード：big / small / brown / white / fast / cute
- 犬の絵（先生の例用）
- 基本セット p.3（マッチング：dog / puppy / bone / paw / guide dog / nose）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	8月26日は犬の日（National Dog Day）だと伝え、先生の犬の絵を見せて3文で紹介する。絵カードで big / small / brown / fast を見せ、まねして言わせる。	先生の紹介を聞き、絵カードの言葉をまねて言う。	“August 26 is Dog Day. Woof, woof!” “This is my dog. His name is Pochi.” “He is small and brown. He likes bones.” “Big! Small! Brown! Fast! Repeat.”
展開1	6	飼っている犬でも想像の犬でもよいので、画用紙に犬の絵をかかせる。かきながら、先生が回って What's his name? / Is he big or small? と聞き、答えを英語で言わせる。	犬の絵をかき、先生の質問に英語で答える。	“Draw your dog. A real dog or a dream dog.” “What's his name?” “Is he big or small?” “What does he like?”
まとめ	6	4人グループで、絵を見せながら3文で紹介させる。聞いている子は Cute! / Nice! と反応する。グループでいちばん楽しい犬を1匹選び、選ばれた子に全体の前で発表してもらう。	グループで絵を見せながら3文で紹介する。いちばん楽しい犬を選ぶ。	“Show your picture to your group.” “Say three sentences. This is my dog. His name is ... He likes ...” “Choose the funniest dog in your group.” “Please come to the front. Everyone, say, Cute!”

板書例

Dog Day (August 26)

This is my dog.

His name is ____.

He is ____ . (big / small / brown / white / fast / cute)

He likes ____ . (bones / walks / balls)

Woof, woof! (日本語では ワン、ワン)

評価のポイント

- 絵を見せながら、3文で犬を紹介できたか。
- big / small などの言葉を、自分の犬に合わせて選べたか。
- 友だちの発表に反応を返せたか。

つまずきへの手だて

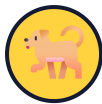
- 言葉が出ない子には、絵カードを指さして選ばせ、先生がいっしょに言う。
- 絵をかくのが苦手な子には、犬の形の型紙をわたして色だけぬらせる。
- メスの犬を紹介したい子には、Her name is ... / She is ... を教える。

発展

- 日本の犬の日は11月1日（ワン・ワン・ワン）で、英語では犬が woof, woof と鳴くことを紹介する。
- 基本セット p.6 の迷路で、犬を骨まで連れていく。
- 基本セット p.8 のなぞり書きで dog / puppy / bone を書く。

使う教材

- 基本セット p.3（マッチング）
- 基本セット p.6（迷路）
- 基本セット p.8（なぞり書き）



2. 保護犬のための英語ポスター

授業手順書（詳細版）／対象：高校／45分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

この日の目的（保護犬と働く犬）を英語の本文から読み取り、保護犬の里親を呼びかける短く伝わる英文（Adopt me! のキャッチコピーと3文の紹介文）を書ける。

準備

- 基本セット p.1（読解）：本文の第1・第2段落（Colleen Paige と Sheltie、2004年、この日の2つの目的）
- 基本セット p.2（4択・True / False）
- A4 またはB4のポスター用紙と色ペン（班に1セット）
- 投票用のシール（1人1枚）
- 記事の会話（Riku と Grace）の音声：このサイトの英語ページ

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	英語ページの会話を聞かせ、Grace の犬 Max がどこから来たかを聞く（from a shelter）。shelter と adopt の意味を確かめ、今日はこの2語が中心だと伝える。	会話を聞き、Max が保護施設から引き取られたことを聞き取る。shelter / adopt の意味を確かめる。	"Listen. Where did Max come from?" "Yes, from a shelter. A shelter is a place for dogs without a family." "Grace adopted Max. Adopt means take an animal home as family."
展開1	10	基本セット p.1 の本文第1・第2段落を読ませ、この日を始めた人・年・2つの目的を答えさせる（Colleen Paige、2004年、保護犬の引き取りを考えること・働く犬に感謝すること）。基本セット p.2 の True / False で確かめる。	本文を読み、始めた人・年・2つの目的を見つける。True / False に答える。	"Who started National Dog Day? When?" "The day has two goals. What are they?" "First, adopting dogs from shelters. Second?" "Right. Thanking working dogs."
展開2	15	班ごとに架空の保護犬を1匹決め、プロフィール（名前・年・性格・好きなこと）を英語で作らせる。そのあと Adopt me! で始まるキャッチコピーと3文の紹介文を考えてポスターにまとめさせる。短く・具体的に・読み手の気持ちを動かすことを意識させる。	架空の保護犬のプロフィールを作り、キャッチコピーと3文の紹介文をポスターにまとめる。	"Make a profile for a shelter dog. Name, age, personality, likes." "Your poster starts with Adopt me!" "Then write three short sentences." "Make people want to meet your dog."
展開3	10	ポスターを教室の壁に貼り、ギャラリーウォークで読み合わせる。各自、いちばん心を動かされたポスターにシールを1枚貼り、付せんに理由を英語で1文書かせる。	ほかの班のポスターを読み、いちばんよいものに投票し、理由を1文書く。	"Walk around and read all the posters." "Put your sticker on your favorite one." "Write one reason. I chose this poster because ..."
まとめ	5	票の多かったポスターを紹介し、なぜ伝わったのかをクラスで考える。もう1つの目的である働く犬（警察犬・盲導犬など）にもふれ、本文最後の「犬がいなくても、働く犬にありがとうを言う」を読んで終わる。	選ばれたポスターのよさを考える。働く犬への感謝についてふり返る。	"This poster got the most votes. Why does it work?" "Don't forget working dogs, like police dogs and guide dogs." "If you don't have a dog, you can say thank you to a working dog."

板書例

National Dog Day (August 26)

Colleen Paige → 2004

Two goals

- ① adopt a dog from a shelter
- ② thank working dogs (police dogs, guide dogs)

Poster

Adopt me!

My name is _____. I am _____ years old.

I am _____. (friendly / quiet / playful)

I love _____.

I chose this poster because _____.

評価のポイント

- 本文から、この日を始めた人・年・2つの目的を正しく読み取れたか。
- ポスターのキャッチコピーと紹介文が、短く具体的に、読み手に伝わる英語になっているか。
- 投票の理由を because を使って書けたか。

つまづきへの手だて

- 性格を表す語（friendly / shy / playful / calm など）の一覧を黒板に用意する。
- 書くことが決まらない班には、本文の会話の He looks so happy now.などを参考にさせる。
- 絵が苦手な生徒は文の担当、英文が苦手な生徒は絵の担当など、班で役割を分けさせる。

発展

- 本文第3段落（犬の嗅覚、約450の犬種）から事実を1つ選び、ポスターに Fun fact として足す。
- ハチ公の話（本文第4段落）を英語で3文に要約する。
- 基本セット p.4（クロスワード）で shelter / owner / puppyなどの語を確かめる。

使う教材

- 基本セット p.1（読解）
- 基本セット p.2（4択・True / False）
- 基本セット p.4（クロスワード）
- このサイトの英語ページの音声（会話）